

事業共創でソーシャルイノベーションを！ 電話×AIでつなぐ、高齢化社会の家族の絆

NTTコミュニケーションズ株式会社

ビジネスソリューション本部

事業推進部 OPEN HUB for Smart World

スマートワールドビジネス部 スマートヘルスケア推進室

事業共創でソーシャルイノベーションに挑む OPEN HUB for Smart Worldの取組



OPEN HUBの狙い

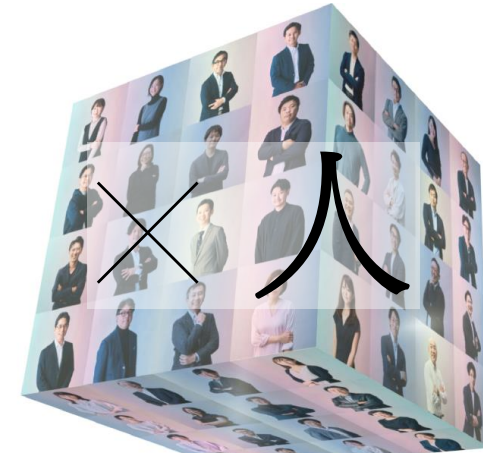
背景

- 環境問題や高齢化、昨今の複雑化する社会課題を1社で解決することは難しく、業界業種を超えた企業のアセットやノウハウを掛け合わせた共創活動の重要性が高まっている

課題

- 仲間集めに苦慮してプロジェクト推進ができないケースや必要なリソースが調達できず実現に至らない
- 短期利益が求められる企業活動においては、社会貢献という長期的成果を目的としたプロジェクトが社内評価を受けずに道半ばでシュリンクする

- ・ 事業共創プログラムによって社会実装を加速させ、社会課題へのアプローチを多様化し解決を前進する
- ・ コミュニティ活動を通じて、ソーシャルビジネスに取り組む仲間同士のつながりを密にし、新たなアセットの掛け合わせでソーシャルイノベーションを生み出す



未来をひらく「コンセプトと社会実装」の実験場

OPEN HUBとは

➤ 「オウンドメディア」「コミュニティ」「共創の場」「プログラム・カタリスト」の4つの機能を通じ、開設3年で1,000件を超える共創案件を創出

オウンドメディア

知る

MEDIA

メルマガ会員

45万 名



JOURNAL

RADIO



コミュニティ

つながる

BASE

コミュニティ会員

2万 名



WORKSHOP

PITCH



共創の場

体験する

PARK

来訪

2,500 社 6,000 名



METAVVERSE

DIGITAL HUMAN



プログラム

生み出す

PLAY

カタリスト

900 名

共創案件

1,000 件



CATALYST

ASSET



OPEN HUBから生まれた社会課題解決事例 (1/2)

事例 01

高齢化社会(認知症予防)

認知症で不安になる本人・家族・企業が少なくなる社会へ
「脳の健康チェック」



日本テクトシステムズ
自治体
保険業界
製薬業

詳細は後述

事例 02

GX

水田から発生するメタンガスの抑制でJ-クレジットを創出
新たな農業モデルの構築



ヤンマーマルシェ
イナカデリコ
パートナー生産者

事例 03

社会インフラ老朽化

道路や水道など社会インフラの老朽化課題解決を目指す
総合マネジメント事「JCLaaS」



西日本旅客鉄道(JR西日本)
みずほ銀行
三井住友銀行
三菱東京UFJ銀行
日本政策投資銀行

OPEN HUBから生まれた社会課題解決事例 (2/2)

事例 04

GX

森林クレジット創出によるカーボンニュートラル実現を目指す、森林価値創造プラットフォーム



住友林業

事例 05

GX

温室効果ガスの排出量可視化で鉄鋼業界全体のカーボンニュートラルを実現



伊藤忠丸紅鉄鋼
ウェイトボックス
メタル便

事例 06

交通課題(事故、自然災害)

AI搭載スマート道路灯で速度超過や路面凍結を注意喚起
交通事故ゼロへ



スタンレー電気
加賀FEI

社会課題 × 事業共創アワードの設立 (Forbes Xtreprenuer Award)

- 自社の事業共創推進だけでなく、日本社会全体のサステナブルな未来の実現に向け、社会課題解決に寄与する優れた共創PJを評価・表彰するアワードを設立 (Forbes JAPAN Xtreprenuer AWARD)
- 2回目の開催となる2024年度は100件以上のエントリーから社会課題解決に挑む受賞PJを日本から世界に発信
 - ※参考URL：FY23 [Xtreprenuer AWARD 2023 | Forbes JAPAN \(フォーブスジャパン\)](#)
 - FY24 [Xtreprenuer AWARD 2024 | Forbes JAPAN \(フォーブスジャパン\)](#)

FY24 受賞プロジェクト例

◀ GRAND PRIX



心・血管修復パッチ
「シンフォリウム」の共同開発

福井経編興業、帝人、大阪医科薬科
大学

MORE >

◀ サークュラーエコノミー

廃食用油を原料とした国産SAFの
大規模生産に向けた協業

レポインターナショナル、コスモ石油、
日揮ホールディングス



MORE >

Forbes掲載誌



表彰式の様子

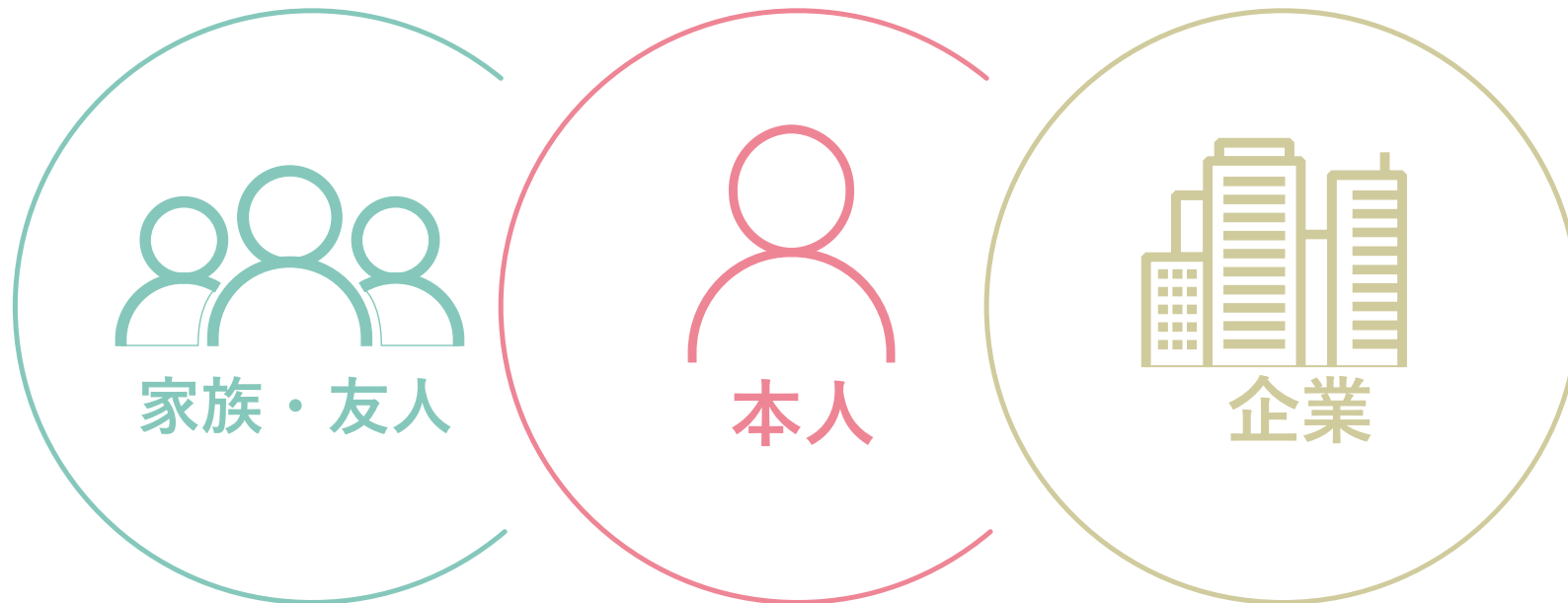


電話×AIでつなく、高齢化社会の家族の絆 「脳の健康チェックサービス」



「脳の健康チェックサービス」 目指す未来

認知症で不安になる本人・家族・企業が少なくなる社会へ



脳の健康チェック



パートナー企業様

認知症に対する意識を高め、衰えを緩和できる世界をパートナー様と共に創り、
人生100年時代のQOL向上を目指します。

「脳の健康チェックサービス」課題の解決に向けて

- 日常生活の中での簡易な認知機能チェック環境を整備

短時間

1分以内で

どこでも

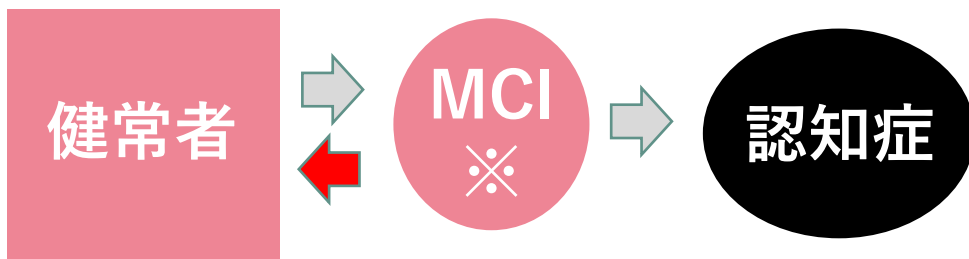
電話さえ繋がれば

簡単に

面倒な準備、
操作は一切不要

社会全体の認知症に関する意識を高め、行動変容させる

- MCI(軽度認知障害)の状態が軽度であれば、回復率は高くなる



※MCI： 軽度認知障害

認知症を早期発見するために

- 予防：健康診断/人間ドックの受診
生活改善（禁煙・運動） 等
- 進行防止：治療・リハビリ 等

脳の健康チェック

電話だけでチェック

所要時間は6分だけ

すぐに結果が分かる

- 1 電話をかける
- 2 ガイダンスの質問に
声を出して答える
- 3 その場で結果を
受け取る



「脳の健康チェックサービス」特徴



利用者さま

いつでも、どこでも、電話だけで、
脳の健康チェックが実施できます



電話で
脳の健康チェック

電話で
答える
だけ

すぐに
結果が
分かる

どこ
でも
できる

誰にも
知られ
ない

〈かんたんチェック〉
軽度認知症相当の検出率 **93%**

日付, 年齢

〈くわしくチェック〉
より早期の認知機能低下の検出率 **89%**

日付, 年齢 + 2 種類の質問



脳に健康に変化は
見られませんでした

脳に健康に変化が
見られます

- 5 元気な脳の状態です
- 4 まだまだ元気な
脳の状態です
- 3 脳の健康に変化がある
可能性があります
- 2 脳の健康に変化が
見られつつあります
- 1 脳の健康に変化が
見られます



自治体さま

施策の効果を確認しながら
住民への利用推進ができます

短時間・どこでも・簡単に、
電話で脳の健康状態を把握できるので、
広い層にアプローチが可能です。



利用者の認知機能状況を
ダッシュボードで把握できるので、
認知症施策立案や効果測定が可能です。
また、継続利用の推進を行うことが可能です。



チェック結果に合わせた認知症施策を、
音声ガイダンス/SMSでご案内が可能です。



「脳の健康チェックサービス」利用実績

2022年9月21日、無料トライアル版を提供開始
無料版開始と共にニュースリリース・報道発表を実施、
1週間で約30万コールの反響がありました。

TV放映回数

20 回以上

新聞掲載紙数

16 紙以上

公式HPからの問い合わせ

140 件以上

リリース後コール数

約 50 万件以上

「脳の健康チェックサービス」今後の展開

現状は認知機能チェック機能を備えた専用ダイヤルというシンプルなサービスですが、ユーザーさまの課題やご要望に合わせて以下のような拡張も検討しております。

1 思い出話をしながら楽しくチェック

- ・生成系AIを用いた他愛ない会話でチェック



2 脳の健康見守りアプリ

- ・独居の方の体調と脳の健康見守り



- ・リンゴとバナナ、ビタミンCが多いのは？
- ・大河ドラマが始まったのは西暦何年から？
- ・今日は西暦何年何月何日？

3 各種トレーニングとの連携

- ・スマホを使ったトレーニングや、カラオケ・ダンスなどの各種レクとの組み合わせ



4 デジタルヒューマンを活用した個人に合わせたデジタルコミュニケーション

- ・相手の気分（発話内容等）に合わせた応対でコンシェルジュのような応対

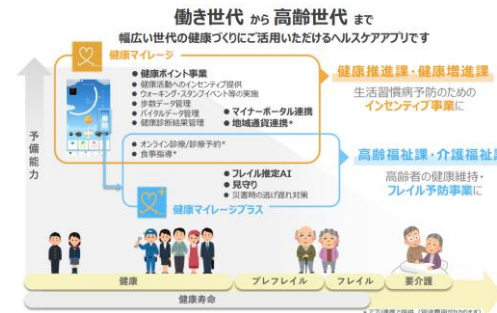


こちらで脳の健康チェック無料サービスを実施しております。

モーション生成AIシナリオ対話実装

5 その他サービス（健康マイレージ）

- ・ウォーキング・スタンプイベントアプリ・見守り機能
フレイル推定AI機能も搭載



懐かしい“おもいで話”で、脳も心も健やかに

電話でAIとおもいで話を楽しみながら、自然と脳も心も健康になっていく。


「おもいでダイヤル」はノスタルジー体験と脳の健康チェックを同時に実現するサービスです。



【かんたん・5ステップ】

1. 《おもいでダイヤル》に電話をかける
2. 「今日の日付」と「生年月日」を話す
3. 生まれた日から今日までの、新聞記事を紹介
4. 新聞記事の「おもいで話」を語る
5. 認知機能の状態を測定し、その場で回答

早速、無料で話してみる〈通話料 無料〉

 **0120-468354**

携帯電話やご自宅の電話からかけられます

東京都事業多摩イノベーションエコシステム「リーディングプロジェクト」三鷹市実証実験

脳の健康チェックから海馬体積測定、 運動による行動変容の実証実験を実施



この取組は、三鷹市福祉Laboどんぐり山[※]と協働で実施しています
[※]三鷹市福祉Laboどんぐり山は「在宅医療・介護の推進拠点」として令和5年12月に三鷹市が設置した施設です

あなたに合わせた
 脳の健康維持のための最新情報を手に入れよう！

脳健康チェックに回答して

脳からはじめるヘルスケア

いつまでも自分らしく

電話でいくつかの質問に答えて、脳の健康維持のための情報を手に入れよう。
 あなたに合った方法がきっと見つかるはず。電話は自動応答なので気軽にトライ！

電話 de 脳健康チェック NITコミュニケーションズ
 音声で答えるだけのカンタン記憶力テスト
 期間限定 通常有料 ▶▶▶ 今なら無料で受けられる！

エリア限定 三鷹市版

24時間いつでも実施可能！
 利用期間 | 2024年9月15日(日)～2024年10月14日(日)
 利用料 | 無料
 ※結果は電話番号へショートメッセージで返信されます
 (固定電話、非通知設定は対象外です)

※1 株式会社CogSma(東北大学脳神経学研究所)、工業株式会社Laboどんぐり山、NTTコミュニケーションズ株式会社、野村不動産ライフ&スポーツ株式会社との連携による実証実験。脳健康チェックから認知症予防介入までを支援する総合サービスの実証、の一環として実施しております。
 ※2 脳健康チェックの一部のみに脳神経研究のご提供をお願いする場合がございます。なお、脳神経研究の参加は任意です。